

兵解協だより

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と良いお年をお迎えになられましたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は申年で、「革命の年」ともいわれる丙申でした。株式市場では、「申酉騒ぐ」という格言があり、相場の動きが激しい年と言われており、その格言どおり、日経平均、為替相場が、歴史にないほど乱高下をいたしました。この影響で、景気減速が懸念され、消費増税も先送りになり、政府、日銀の金融政策は事実上限界に達し、「デフレ脱却」も後退し、景気の先行きは、益々不透明となっています。さらに米国の大統領選で「トランプ」氏が勝利し、世界中に先行きの懸念や不安感が広まっています。ただ、予想に反して円相場・株式相場が、急回復しており、企業の収益改善に好影響が見込まれておりますが、今後の「トランプ政策」によっては重大な影響が生じる懸念があり、政府・日銀の舵取りを見守るしかないのが現状です。

このような状況の中、解体工事業を取り巻く社会経済情勢は、さらに厳しいものがあり、深刻な人手不足や資材高騰、あるいは解体工事費の極端な低価格化の進展等、様々な課題が累積して深刻度が増しているのが現状です。

一方では、「解体工事業」が新設された「建設業法の改正」が施行されるとともに、今後膨大な量の解体工事のストックの存在が予想されているなど、「解体工事業」が発展する絶好の機会を迎えているといっても過言ではございません。

このような状況の中、これからの解体工事業の課題としては、解体工事業の団体・企業が全体としてのレベルアップをすることが必要で、このためには、「法令の遵守」、「安全管理の徹底」、「技術力のさらなる向上」と、「防災協定」などによる「社会的貢献」を推進して信用力を高めていく事が必要となります。協会員の皆様方と結束を固め、協力し合って、協会のさらなる発展のために共に努力をしてみたいと考えております。

最後になりましたが当協会にご理解とご支援を賜りましたことに対しまして厚く御礼申し上げます。また、協会員の皆様方をはじめ、関係各位の皆様方のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



兵庫県解体工事業協会

会長 上原 満